

Kawasaki Report

川重冷熱工業株式会社 大阪本社 Tel. (06) 6325-0300



平成16年11月24日

平成17年3月期 中間決算短信(非連結)

会社名 川重冷熱工業株式会社

コード番号 6414

(URL <http://www.khi.co.jp/corp/kte>)

本店所在地 滋賀県草津市青地町1000番地

代表者 役職名 取締役社長

氏名 門脇文武

問い合わせ先 責任者役職名 理事 企画室長

氏名 絹田清昭

中間決算取締役会開催日 平成16年11月24日

中間配当支払開始日

親会社名 川崎重工業株式会社(コード番号:7012)

登録銘柄

本店所在都道府県

滋賀県

TEL(077)563-1111

中間配当制度の有無:有

単元株制度採用の有無:有(1単元1,000株)

親会社における当社の株式保有比率 83.0%

1. 16年9月中間期の業績(平成16年4月1日~平成16年9月30日)

(1) 経営成績 (注)金額は百万円未満を切捨て

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 |
|----------|-------------|------------|------------|
| | 百万円 % | 百万円 % | 百万円 % |
| 16年9月中間期 | 8,301 (0.9) | 179 (21.1) | 169 (18.4) |
| 15年9月中間期 | 8,225 (3.2) | 148 (54.1) | 143 (55.2) |
| 16年3月期 | 17,205 | 509 | 503 |

| | 中間(当期)純利益 | 1株当たり中間(当期)純利益 | 潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益 |
|----------|------------|----------------|-----------------------|
| | 百万円 % | 円 銭 | 円 銭 |
| 16年9月中間期 | 23 (775.6) | 1 39 | |
| 15年9月中間期 | 2 (97.5) | 16 | |
| 16年3月期 | 108 | 6 43 | |

- (注) 1. 持分法投資損益 16年9月中間期 - 百万円 15年9月中間期 - 百万円 16年3月期 - 百万円
2. 期中平均株式数 16年9月中間期 16,816,907株 15年9月中間期 16,821,423株 16年3月期 16,820,423株
3. 会計処理の方法の変更: 無
4. 売上高、営業利益、経常利益、中間純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2) 配当状況

| | 1株当たり中間配当金 | 1株当たり年間配当金 |
|----------|------------|------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 16年9月中間期 | 0 0 | |
| 15年9月中間期 | 0 0 | |
| 16年3月期 | | 6 00 |

(3) 財政状態

| | 総資産 | 株主資本 | 株主資本比率 | 1株当たり株主資本 |
|----------|--------|-------|--------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 16年9月中間期 | 12,309 | 3,775 | 30.7 | 224 54 |
| 15年9月中間期 | 12,525 | 3,744 | 29.9 | 222 59 |
| 16年3月期 | 13,198 | 3,855 | 29.2 | 229 23 |

- (注) 1. 期末発行済株式数 16年9月中間期 16,814,990株 15年9月中間期 16,820,290株 16年3月期 16,819,090株
2. 期末自己株式数 16年9月中間期 15,010株 15年9月中間期 9,710株 16年3月期 10,910株

(4) キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 16年9月中間期 | 996 | 121 | 962 | 245 |
| 15年9月中間期 | 54 | 117 | 101 | 661 |
| 16年3月期 | 831 | 287 | 518 | 333 |

2. 17年3月期の業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり年間配当金 | |
|-----|--------|------|-------|------------|------|
| | | | | 期末 | |
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 | 円 銭 |
| 通 期 | 16,550 | 510 | 115 | 6 00 | 6 00 |

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 6円 83銭

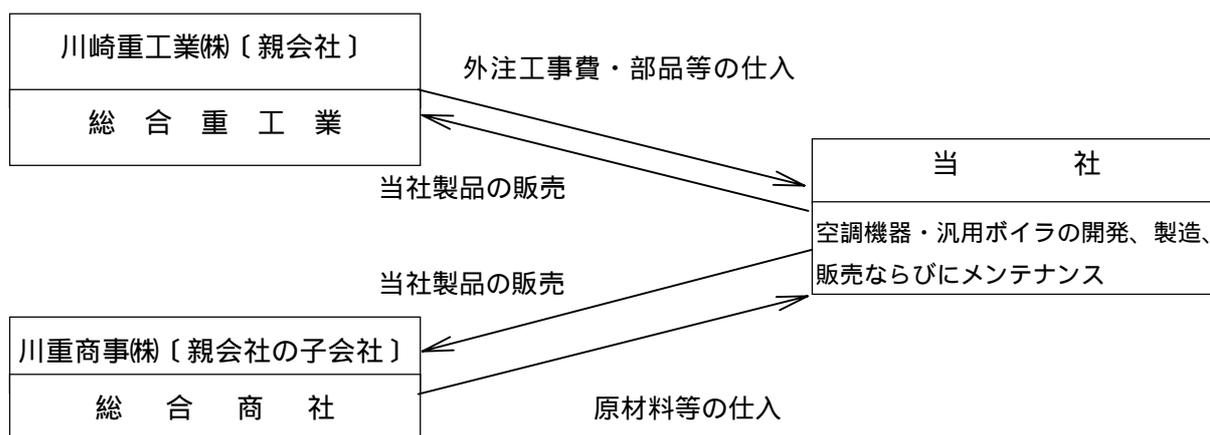
上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、経済情勢・競合状況や不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。
 なお、上記業績予想に関連する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

1. 企業集団の状況

当社は、都市ガス・灯油・排熱などを燃料として、主にビル等の冷暖房用の冷水及び温水を作る「吸収冷温水機」などの開発・製造・販売・メンテナンスを行う空調事業と、廃熱ボイラ・水管ボイラなどの「汎用ボイラ」の開発・製造・販売・サービスを行うボイラ事業の2つの事業を営んでおりますが、当社独自の企業集団は有しておりません。

当社の親会社川崎重工業株式会社は、当社を含め子会社104社及び関連会社32社によって構成された企業集団を有し、同社を中心として船舶事業、車両事業、航空宇宙事業、ガスタービン・機械事業、プラント・環境・鉄構事業、汎用機事業及びその他の事業を営んでおりますが、グループ内において当社はガスタービン・機械事業区分に位置付けされております。

また、当社の関連当事者としては、親会社の子会社である川重商事株式会社があります。当社と川崎重工業株式会社及び川重商事株式会社との取引を図示しますと次のとおりとなります。



2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社の経営は、「エクセレントカンパニーの構築」をめざし、顧客のニーズにあった商品を業界一級の技術で提供することにより適正利益を確保し、株主には適正な配当を行うとともに、従業員および全事業従事者のために人間性豊かでゆとりのある業務遂行と暮らしを創造し続けながら、社会に貢献することを基本に運営しております。

(2) 会社の利益配分に関する基本方針

当社は株主に対する配当の継続を経営の重要政策の一つとして位置づけており、企業体質の強化を図りつつ業績向上に邁進する所存であります。この観点に立って、収益状況の

みならず財務体質、将来の事業展開等を総合勘案しながら、適正な配当を決定していきたく考えております。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

空調機器と汎用ボイラの製品開発力をベースに製品品質の向上と顧客満足度向上活動を推進しつつ、これらの機器・付帯設備を含むシステムの販売とメンテナンスの拡大を図るとともに、関連する成長分野へも積極的にチャレンジして収益力の向上を図る所存であります。

(4) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及びその施策の実施状況

当社は、効率的かつ健全な企業活動を重要課題と認識し、諸施策に取り組んでおります。現在当社は、経営の監督機能として監査役制度を採用しております。選任している取締役9名の内、2名を社外取締役として、業務遂行の監督機能を充実させております。また、監査役4名の内、3名を社外監査役としており、監査役の経営監督機能の充実に努めております。さらに、監査室においては、社内の業務執行の妥当性、効率性、健全性を幅広く検証し、経営に対する助言、提言をおこなっております。なお、社外取締役および社外監査役は、当社の親会社である川崎重工業株式会社の役員または従業員であり、当社と同社との間に製品の販売その他につき取引関係があります。

また、毎月1回の取締役会に加えて役員会を開催し、経営判断を迅速かつ的確に行えるよう努めております。

3. 経営成績及び財政状態

(1) 経営成績

当中間期のわが国経済は、中国を中心としたアジア向けの好調な輸出に支えられ、民間設備投資の増加等の一部に明るい兆しが見られるものの、原油高、個人消費の低調、雇用情勢が依然厳しいという背景から景気の不透明感が解消されないまま推移いたしました。

このような厳しい経営環境のなかで、当社は積極的に事業運営に取り組んだ結果、受注高は、前年同期比6億54百万円増の111億3百万円、売上高は、前年同期比76百万円増の83億1百万円とともに前年同期を上回りました。

事業区分別には、次のとおりです。

空調事業につきましては、受注高は、機器本体は取替需要を中心に前年同期並みを維持したものの、改修改造工事・メンテナンスが減少したことにより前年同期比12百万円減の76億45百万円となりました。売上高は、機器本体では増加しましたが、改修改造工事・メンテナンスの期首の受注残高が少なかったこともあり、前年同期比40百万円減の57億43百

万円となりました。

ボイラ事業につきましては、受注高は、機器本体は主力機種である水管ボイラと排熱ボイラを中心に増加し、加えて、既納機の巡回活動を強化した結果、改修改造工事・メンテナンスも増加したことにより前年同期比 6 億 67 百万円増の 34 億 57 百万円となりました。売上高は、機器本体と改修改造工事・メンテナンスとともに増加したことにより前年同期比 1 億 16 百万円増の 25 億 58 百万円となりました。

次に利益面につきましては、前年からの資材費高騰によるコストアップ分を製品価格への転嫁、そして、コストおよび諸費用の低減により吸収することに努めました結果、経常利益は、前年同期比 26 百万円増の 1 億 69 百万円、中間純利益は、前年同期比 20 百万円増の 23 百万円となりました。

(2) 財政状態

当中間期の営業活動によるキャッシュ・フローは、9 億 96 百万円となりました。前年同期比では、法人税等の支払額の減少並びに売上債権の減少などにより 10 億 50 百万円の増加となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、経常的な固定資産の取得などにより 1 億 21 百万円（前年同期比 4 百万円減）となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の圧縮及び配当金の支払などにより 9 億 62 百万円（前年同期比 8 億 61 百万円減）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の中間期末残高は、前期末より 87 百万円減少し、2 億 45 百万円（前年同期比 4 億 15 百万円減）となりました。

(3) 通期の見通し

通期といたしましては、国内経済は、景気が回復に向かうことが期待されるものの、原油高、資材費高騰、更には個人消費および雇用情勢の回復もおぼつかない状況にあり、不透明な状況が続くものと予想されます。

こうしたなかにおいて当社は、空調事業につきましては、主力機種である大型機の「シグマエース」により取替需要の確保に努め、他方ではコージェネレーションシステムの一部に組み込まれ排熱、排温水を利用する吸収冷温水機として注目されている「シグマエースジェネリンク」で新規需要開拓に努めてまいります。

一方、ボイラ事業につきましては、貫流ボイラで蒸発量 100kg/h ~ 6000kg/h の小容量から大容量までの機種をラインナップしておりますので、この品揃えを活かした販売活動を積極的に展開し、貫流ボイラのシェアアップを図ってまいります。

更には、空調・ボイラ事業とともに機器本体に付帯する周辺設備への対応力を高めて事業の拡大に努め、加えて遠隔監視システムである「テレメンテ」の普及を促進し、サービスの質の向上に努めてまいります。

4. 中間財務諸表等

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

| 科 目 | 当中間期 (平成16年9月30日) | | 前年中間期 (平成15年9月30日) | | 前 期 (平成16年3月31日) | |
|----------|----------------------|-------|-----------------------|-------|---------------------|-------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 |
| (資産の部) | | % | | % | | % |
| 流動資産 | 8,626,230 | 70.1 | 8,882,140 | 70.9 | 9,549,562 | 72.4 |
| 現金及び預金 | 16,759 | | 661,463 | | 333,071 | |
| 受取手形 | 1,731,035 | | 2,176,133 | | 2,454,945 | |
| 売掛金 | 4,469,699 | | 3,942,431 | | 4,852,363 | |
| たな卸資産 | 1,938,112 | | 1,789,836 | | 1,618,444 | |
| 繰延税金資産 | 230,905 | | 271,266 | | 230,905 | |
| その他 | 378,522 | | 169,038 | | 219,072 | |
| 貸倒引当金 | 138,804 | | 128,030 | | 159,240 | |
| 固定資産 | 3,683,702 | 29.9 | 3,643,612 | 29.1 | 3,648,444 | 27.6 |
| 有形固定資産 | 2,015,145 | 16.3 | 2,018,273 | 16.1 | 1,986,837 | 15.0 |
| 建物 | 782,512 | | 793,911 | | 783,252 | |
| 構築物 | 196,204 | | 198,853 | | 198,623 | |
| 機械装置 | 603,703 | | 584,432 | | 580,891 | |
| 土地 | 229,752 | | 230,914 | | 230,914 | |
| その他 | 202,973 | | 210,162 | | 193,155 | |
| 無形固定資産 | 206,776 | 1.7 | 164,257 | 1.3 | 201,920 | 1.5 |
| 投資その他の資産 | 1,461,779 | 11.9 | 1,461,081 | 11.7 | 1,459,686 | 11.1 |
| 繰延税金資産 | 1,190,186 | | 1,212,724 | | 1,189,965 | |
| 投資その他の資産 | 308,788 | | 297,326 | | 305,480 | |
| 貸倒引当金 | 37,195 | | 48,969 | | 35,759 | |
| 資産合計 | 12,309,932 | 100.0 | 12,525,752 | 100.0 | 13,198,006 | 100.0 |

(単位:千円)

| 科 目 | 当中間期 (平成16年9月30日) | | 前年中間期 (平成15年9月30日) | | 前 期 (平成16年3月31日) | |
|--------------|----------------------|-------|-----------------------|-------|---------------------|-------|
| | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 | 金 額 | 構成比 |
| (負債の部) | | % | | % | | % |
| 流動負債 | 5,468,312 | 44.4 | 5,522,982 | 44.1 | 6,245,212 | 47.3 |
| 支払手形 | 1,926,622 | | 1,771,859 | | 1,926,705 | |
| 買掛金 | 2,482,496 | | 2,283,425 | | 2,486,165 | |
| 短期借入金 | 30,000 | | 270,000 | | 890,000 | |
| 未払法人税等 | 60,124 | | 27,162 | | 60,693 | |
| 未払消費税等 | 51,532 | | 62,478 | | 94,191 | |
| 未払費用 | 238,160 | | 276,882 | | 244,059 | |
| 前受金 | 126,986 | | 205,404 | | 54,832 | |
| 賞与引当金 | 325,000 | | 457,000 | | 318,000 | |
| 製品保証引当金 | 33,850 | | 28,800 | | 38,100 | |
| その他 | 193,539 | | 139,968 | | 132,464 | |
| 固定負債 | 3,066,036 | 24.9 | 3,258,668 | 26.0 | 3,097,422 | 23.5 |
| 退職給付引当金 | 2,955,736 | | 3,178,668 | | 2,999,822 | |
| 役員退職慰労引当金 | 30,000 | | 30,200 | | 37,300 | |
| 製品保証引当金 | 80,300 | | 49,800 | | 60,300 | |
| 負債合計 | 8,534,348 | 69.3 | 8,781,650 | 70.1 | 9,342,635 | 70.8 |
| (資本の部) | | | | | | |
| 資本金 | 1,460,500 | 11.9 | 1,460,500 | 11.7 | 1,460,500 | 11.1 |
| 資本剰余金 | 1,228,500 | 10.0 | 1,228,500 | 9.8 | 1,228,500 | 9.3 |
| 資本準備金 | 1,228,500 | | 1,228,500 | | 1,228,500 | |
| 利益剰余金 | 1,082,094 | 8.8 | 1,054,301 | 8.4 | 1,159,651 | 8.8 |
| 利益準備金 | 168,800 | | 168,800 | | 168,800 | |
| 任意積立金 | 600,000 | | 600,000 | | 600,000 | |
| 中間(当期)未処分利益 | 313,294 | | 285,501 | | 390,851 | |
| その他有価証券評価差額金 | 10,841 | 0.1 | 4,792 | 0.0 | 11,167 | 0.1 |
| 自己株式 | 6,351 | 0.1 | 3,991 | 0.0 | 4,447 | 0.0 |
| 資本合計 | 3,775,583 | 30.7 | 3,744,101 | 29.9 | 3,855,371 | 29.2 |
| 負債・資本合計 | 12,309,932 | 100.0 | 12,525,752 | 100.0 | 13,198,006 | 100.0 |

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

| 期 別 科 目 | 当中間期 (自平成16年4月1日 至平成16年9月30日) | | 前年中間期 (自平成15年4月1日 至平成15年9月30日) | | 前 期 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日) | |
|----------------------------------|-------------------------------------|-------|--------------------------------------|-------|------------------------------------|-------|
| | 金 額 | 百分比 | 金 額 | 百分比 | 金 額 | 百分比 |
| 売 上 高 | 8,301,472 | 100.0 | 8,225,307 | 100.0 | 17,205,616 | 100.0 |
| 売 上 原 価 | 6,135,195 | 73.9 | 6,148,868 | 74.8 | 12,864,604 | 74.8 |
| 売 上 総 利 益 | 2,166,277 | 26.1 | 2,076,439 | 25.2 | 4,341,011 | 25.2 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 | 1,986,439 | 23.9 | 1,927,972 | 23.4 | 3,831,676 | 22.2 |
| 営 業 利 益 | 179,837 | 2.2 | 148,466 | 1.8 | 509,335 | 3.0 |
| 営 業 外 収 益 | 9,464 | 0.1 | 8,511 | 0.1 | 19,488 | 0.1 |
| 受 取 利 息 | 16 | | 24 | | 43 | |
| そ の 他 | 9,448 | | 8,486 | | 19,444 | |
| 営 業 外 費 用 | 19,695 | 0.2 | 13,708 | 0.2 | 24,872 | 0.2 |
| 支 払 利 息 | 3,440 | | 1,274 | | 4,600 | |
| そ の 他 | 16,255 | | 12,434 | | 20,272 | |
| 経 常 利 益 | 169,607 | 2.1 | 143,269 | 1.7 | 503,950 | 2.9 |
| 特 別 利 益 | 16,289 | 0.1 | — | - | — | - |
| 貸 倒 引 当 金 戻 入 額 | 16,289 | | — | | — | |
| 特 別 損 失 | 102,539 | 1.2 | 102,539 | 1.2 | 205,078 | 1.2 |
| 退 職 給 付 会 計 基 準 変 更 時 差 異 償 却 | 102,539 | | 102,539 | | 205,078 | |
| 税 引 前 中 間 (当 期) 純 利 益 | 83,357 | 1.0 | 40,730 | 0.5 | 298,872 | 1.7 |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 | 60,000 | 0.7 | 38,000 | 0.5 | 132,000 | 0.8 |
| 法 人 税 等 調 整 額 | — | - | — | - | 58,792 | 0.3 |
| 中 間 (当 期) 純 利 益 | 23,357 | 0.3 | 2,730 | 0.0 | 108,080 | 0.6 |
| 前 期 繰 越 利 益 | 289,937 | | 282,771 | | 282,771 | |
| 中 間 (当 期) 未 処 分 利 益 | 313,294 | | 285,501 | | 390,851 | |

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| 科 目 | 期 別 | 当 中 間 期 (自平成16年4月1日 至平成16年9月30日) | 前年中間期 (自平成15年4月1日 至平成15年9月30日) | 前 期 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日) |
|------------------------|-----|--|--------------------------------------|------------------------------------|
| | | 金 額 | 金 額 | 金 額 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 1. 税引前中間(当期)純利益 | | 83,357 | 40,730 | 298,872 |
| 2. 減価償却費 | | 144,635 | 147,108 | 298,572 |
| 3. 退職給付引当金(役員含む)の減少額 | | 51,385 | 118,086 | 289,832 |
| 4. 賞与引当金の増減額(減少は) | | 7,000 | 13,100 | 125,900 |
| 5. 製品保証引当金の増加額 | | 15,750 | 16,500 | 36,300 |
| 6. 貸倒引当金の増減額(減少は) | | 19,000 | 2,000 | 20,000 |
| 7. 受取利息及び受取配当金 | | 356 | 352 | 1,103 |
| 8. 支払利息 | | 3,440 | 1,274 | 4,600 |
| 9. 固定資産除却損 | | 4,098 | 3,929 | 6,025 |
| 10. 売上債権の増減額(増加は) | | 1,190,636 | 44,436 | 1,286,278 |
| 11. たな卸資産の増減額(増加は) | | 341,376 | 123,474 | 45,751 |
| 12. 仕入債務の増減額(減少は) | | 3,752 | 286,274 | 643,860 |
| 13. 未払消費税等の増減額(減少は) | | 42,658 | 11,630 | 20,082 |
| 14. その他流動資産の増減額(増加は) | | 77,085 | 1,923 | 49,369 |
| 15. その他流動負債の減少額 | | 8,361 | 27,951 | 60,198 |
| 16. 役員賞与 | | | 11,820 | 11,820 |
| 17. その他 | | 138 | 219 | 443 |
| 小計 | | 1,059,251 | 264,181 | 449,992 |
| 18. 利息及び配当金の受取額 | | 297 | 79 | 760 |
| 19. 利息の支払額 | | 2,764 | 1,092 | 4,850 |
| 20. 法人税等の支払額 | | 60,569 | 317,225 | 377,695 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | 996,215 | 54,057 | 831,776 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 1. 有形固定資産の取得による支出 | | 81,963 | 95,154 | 236,827 |
| 2. 有形固定資産の売却による収入 | | 6,752 | 18 | 18 |
| 3. 無形固定資産の取得による支出 | | 43,392 | 22,129 | 48,005 |
| 4. 差入保証金(敷金等)の増減額(増加は) | | 2,563 | 218 | 2,200 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | 121,166 | 117,047 | 287,015 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 1. 短期借入金の純増減額(純減少は) | | 860,000 | | 620,000 |
| 2. 配当金の支払額 | | 100,615 | 100,459 | 100,708 |
| 3. その他 | | 1,904 | 567 | 1,023 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | 962,519 | 101,026 | 518,268 |
| 現金及び現金同等物の増減額(減少は) | | 87,470 | 272,132 | 600,523 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | | 333,071 | 933,595 | 933,595 |
| 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高 | | 245,600 | 661,463 | 333,071 |

(4) 中間財務諸表作成の基本となる重要な事項

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

- (1) 製品・仕掛品 …… 個別法による原価法により評価しております。
- (2) 原材料・貯蔵品 …… 移動平均法による原価法により評価しております。

2. 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

- 時価のあるもの …… 中間決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部資本直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定)により評価しております。
- 時価のないもの …… 移動平均法による原価法により評価しております。

3. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法によっております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については、定額法によっています。

(2) 無形固定資産

定額法によっております。ただし、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

4. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については、貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与の支払いに備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 製品保証引当金

保証期間中の製品に係る保証費用の支出に備えるため、過去の実績を基礎に当該中間期の売上に対応する保証費用の見積額を計上し、保証期間に亘り均等に取崩すこととしております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。なお、会計基準変更時差異(1,025,390千円)については、5年による按分額を費用処理しております。

過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一

定の年数（10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額相当額を計上しております。

なお、平成16年6月に役員退職慰労金制度を改定したことに伴い、同年6月までは改定前の内規に従った額を計上しておりますが、同年7月以降については改定後の内規に従い新たな計上は行っておりません。

5. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

6. 中間キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヵ月以内に満期日の到来する短期的な投資であります。

7. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(注 記 事 項)

【中間貸借対照表関係】

| | (当中間期) | (前中間期) | (前 期) |
|---------------------|-----------|-----------|-----------|
| | (千円) | (千円) | (千円) |
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額 | 5,473,471 | 5,253,160 | 5,368,717 |
| 2. 保証債務 | | | |
| 従業員住宅資金の銀行借入金に対する保証 | 48,374 | 69,103 | 52,507 |

【中間損益計算書関係】

| | (当中間期) | (前中間期) | (前 期) |
|------------|----------|----------|---------|
| | (千円) | (千円) | (千円) |
| 1. 減価償却実施額 | | | |
| 有形固定資産 | 122,155 | 120,637 | 252,503 |
| 無形固定資産 | 22,480 | 26,471 | 46,069 |

2. 当中間会計期間における税金費用については、簡便法により計算しているため、「法人税等

調整額」は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

【中間キャッシュ・フロー計算書関係】

| | (当中間期) | (前中間期) | (前 期) |
|---|----------------|---------|---------|
| | (千円) | (千円) | (千円) |
| 1. 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高と中間貸借対照表(貸借対照表)に掲記されている科目の金額との関係 | | | |
| 現金及び預金勘定 | 16,759 | 661,463 | 333,071 |
| 流動資産のその他に 含まれる親会社預け金 | <u>228,840</u> | - | - |
| 現金及び現金同等物 | 245,600 | 661,463 | 333,071 |

【リース取引関係】

| | (当中間期) | (前中間期) | (前 期) |
|---|--------|--------|-------|
| | (千円) | (千円) | (千円) |
| 1. リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引(支払利子込み法により算定しております) | | | |

(1) リース物件の取得価額相当額

減価償却累計額相当額及び中間期末(期末)残高相当額

| | | | |
|-------------------|---------------|---------------|---------------|
| 取得価額相当額 | 50,849 | 57,832 | 54,501 |
| <u>減価償却累計額相当額</u> | <u>22,784</u> | <u>25,816</u> | <u>28,949</u> |
| 中間期末(期末)残高相当額 | 28,065 | 32,015 | 25,552 |

なお、リース物件の内容は、「工具、器具及び備品」であります。

(2) 未経過リース料中間期末(期末)残高相当額

| | | | |
|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 1 年 以 内 | 12,712 | 12,137 | 10,953 |
| <u>1 年 超</u> | <u>15,353</u> | <u>19,878</u> | <u>14,598</u> |
| 合 計 | 28,065 | 32,015 | 25,552 |

(3) 支払リース料、減価償却費相当額

| | | | |
|-------------|-------|-------|--------|
| 支 払 リ ー ス 料 | 5,707 | 6,523 | 16,660 |
| 減価償却費相当額 | 5,707 | 6,523 | 16,660 |

なお、減価償却費相当額の算定方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

【有価証券】

1. その他有価証券で時価のあるもの

(単位：千円)

| 区分 | 当中間期末 (平成16年9月30日) | | | 前年中間期末 (平成15年9月30日) | | | 前期末 (平成16年3月31日) | | |
|----|-----------------------|----------------|--------|------------------------|----------------|-------|---------------------|--------------|--------|
| | 取得原価 | 中間貸借対 照表計上額 | 差額 | 取得原価 | 中間貸借対 照表計上額 | 差額 | 取得原価 | 貸借対照表 計上額 | 差額 |
| 株式 | 26,598 | 44,800 | 18,201 | 26,598 | 34,644 | 8,045 | 26,598 | 45,348 | 18,749 |

2. 時価のない有価証券

(単位：千円)

| 区分 | 当中間期末 (平成16年9月30日) | 前年中間期末 (平成15年9月30日) | 前期末 (平成16年3月31日) |
|---------------------------------|-----------------------|------------------------|---------------------|
| | 中間貸借対照表計上額 | 中間貸借対照表計上額 | 貸借対照表計上額 |
| その他有価証券 非上場株式 (店頭売買株式を除く) | 10,477 | 10,477 | 10,477 |

【デリバティブ取引】

該当事項はありません。

【持分法投資損益】

該当事項はありません。

5. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

(単位：千円)

| 事業区分 | 当中間期 (自平成16年4月1日 至平成16年9月30日) | 前年中間期 (自平成15年4月1日 至平成15年9月30日) | 増減率 (%) | 前期 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日) |
|-------|-------------------------------------|--------------------------------------|------------|-----------------------------------|
| 空調事業 | 5,743,425 | 5,784,234 | 0.7 | 11,499,864 |
| ボイラ事業 | 2,556,042 | 2,441,073 | 4.7 | 5,707,756 |
| 合計 | 8,299,467 | 8,225,307 | 0.9 | 17,207,621 |

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

(単位：千円)

| 事業区分 | 当中間期 | 前年中間期 | 増減率 (%) | 前期 |
|-------|-----------------------------|-----------------------------|------------|-----------------------------|
| | (自平成16年4月1日 至平成16年9月30日) | (自平成15年4月1日 至平成15年9月30日) | | (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日) |
| 空調事業 | 7,645,942 | 7,658,737 | 0.2 | 11,683,003 |
| ボイラ事業 | 3,457,828 | 2,790,219 | 23.9 | 4,935,240 |
| 合計 | 11,103,771 | 10,448,957 | 6.3 | 16,618,243 |

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

(単位：千円)

| 事業区分 | 当中間期 | 前年中間期 | 増減率 (%) | 前期 |
|-------|-----------------------------|-----------------------------|------------|-----------------------------|
| | (自平成16年4月1日 至平成16年9月30日) | (自平成15年4月1日 至平成15年9月30日) | | (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日) |
| 空調事業 | 5,743,425 | 5,784,234 | 0.7 | 11,499,864 |
| ボイラ事業 | 2,558,046 | 2,441,073 | 4.8 | 5,705,752 |
| 合計 | 8,301,472 | 8,225,307 | 0.9 | 17,205,616 |

(注) 1. 総販売実績に対し10%以上に該当する販売先はありません。

2. 総販売実績に対する輸出高の割合は10%未満であります。

3. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。